

# 広島県 私立学助成をすすめる会ニュース

広島市東区光町2-8-32 エコーハウス広島・広島私教連内 広島県私学助成をすすめる会 TEL(082)263-3138

## 国に対し私学助成の増額要請を実施

- ①概算要求期の7月28日、教職員3人が参加  
文部科学省、総務省、各政党、広島県選出議員への要請実施
- ②予算編成期の12月1日、保護者2人、教職員7人が参加  
文部科学省、総務省、各政党、広島県選出議員への要請実施  
請願署名を第219回臨時国会に提出。同院とも審査未了  
衆議院:文部科学委員会 167,916人分  
参議院:文教科学委員会 107,860人分  
【紹介議員は佐藤、東、福田等64人】  
【紹介議員は森本、宮口、三上等14人】



<文科省>  
ICTに関連して、すべての子どもたちの可能性を引き出す個別最適化の学びを実現するためのツールと認識し2.5億円を要求していることや、エアコン設置支援を含む防災機能強化のために補正予算において116億円を計上していると回答があった。

<総務省>  
交付税交付金の自治体間の教育格差差正について、「格差がないように指導はしている。これからは精査して交付金を見直したい」との回答があった。

## 2026年度政府予算案が12月26日に閣議決定

### 【文部科学省分】

#### ①私学助成関係予算

項目	26年度予算額(案)	25年度予算額	増減
私立大学等経常費補助	2,987	2,979	8
私立高等学校等経常費助成費等補助	1,006*	1,003*	3
私立学校施設・設備の整備	91	91	0

(単位:億円)

私立高等学校等とは、幼稚園から高等学校まで。

#### ②高校生等への修学支援等 6,174億円(889億円増)

◆高等学校等就学支援金等 5,824億円(1,750億円増)

- ◎収入要件の撤廃
- ◎支給上限額(年額) 公立 118,800円 私立 457,200円
- ◎外国籍生徒、外国人学校の扱い

・「留学」等の日本に定着が見込まれない在留資格の外国籍生徒は対象外  
・その上で、在校生(留学生を含む)については、2025年度までの制度による支援を継続

◆高校生等奨学給付金(奨学のための給付金) 322億円(170億円増)

<私立の給付額(年額)>

- 生活保護世帯 52,600円
- 第1子の高校生等がいる非課税世帯 152,000円
- 第2子以降の高校生等がいる非課税世帯 152,000円
- 非課税世帯・専攻科、通信制 52,100円
- 270~380万円程度 住民税非課税世帯の1/3
- 380~490万円程度 住民税非課税世帯の1/4

#### ③高等教育の修学支援の着実な実施 7,486億円(8億円減)

- ◆高等教育の修学支援制度 授業料減免(国等が各学校に交付)
- ◆給付型奨学金制度 給付型奨学金【日本学生支援機構が給付】

◆子どもを3人以上扶養する世帯の学生について授業料等上限額まで所得制限無く無償化  
②幼児期及び幼保小接続期の教育の質的向上 20億円(2億円減)

### 【子ども家庭庁分】<ひとり親世帯>

低所得世帯のこども・若者の貧困対策(若い世代の生活と学びへの支援)

- 大学等受験料支援…大学短大専門学校等の受験料を支援 最大53,000円
- 模擬試験受験料支援…模擬試験の受験料を支援(高校3年生等、最大8,000円)

### 2026年度私学振興補助金ー広島県ー 2月議会で審議

区分	25年度当初予算	26年度当初予算(案)
経常費補助	14,341,045	14,712,218
高等学校	9,222,027	9,429,654
中学校	2,701,612	2,716,351
小学校	668,159	662,639
幼稚園	1,624,774	1,734,133
専門学校	17,810	17,810
その他	124,473	151,631
私立高等学校等就学支援総合対策事業	6,398,759	13,039,887
私立小中学校就学支援総合対策事業	14,084	13,067
その他の補助金	2,484,646	2,515,287
私立学校耐震化緊急促進事業費補助金	8,236	8,236
幼児教育の無償化	414,240	250,056
高等教育の修学支援新制度	1,331,191	1,534,292
私立専門学校「職業実践専門課程」推進補助金	7,550	250
授業目的公衆送信補償金補助事業	18,053	17,949
私立幼稚園の教員等確保支援補助金	97,728	73,152
医療的ケア看護職員配置事業	0	5,290
その他	607,648	626,062
合計	23,238,534	30,280,459

(単位:千円)

小学校的経常費補助金は児童数減のため減額

経常費補助金生徒一人当たり単価(交付税単価は25年度分で計上)

高等学校	394,982円	5,570円	1.4%増
中学校	356,196円	5,474円	1.6%増
小学校	354,542円	5,452円	1.6%増
幼稚園	215,966円	3,483円	1.6%増

### 2026年度私学補助金ー広島市ー 2月議会で審議

私立幼稚園	施設等利用費支給事業等	6億535万8千円	※1
	振興事業	5,979万3千円	※2
私立中学校	特別支援教育研究事業	45万5千円	
	振興事業	282万6千円	
私立高校	振興事業	5,017万2千円	
	部活動・ソフトウェア事業	1,973万9千円	※3

※1…認定こども園への移行により減額

※2…9年連続の増額、「平和教育実践加算」が新設

※3…13年連続の増額

中原会長、保護者3人等の計13人が出席。県会議員3人が同席。

【参加者の声】 (抜粋)

- ★夏休み中は勉強できる教室が1部屋あり空調が入っているが、すぐ生徒で溢れる。どこで勉強しても良いと言われるが、他の教室は空調が入っていない。経費の問題でいろんな場所に夏休み中はエアコンを入れることが難しいと言われた。そちらの方も補助をしていたら、もう少しよつと勉強頑張れるかなと思っっている。
- ★子供たちの健やかな生活のため、そして明るい未来のために、子供たちに良い環境になつてもらえたらいい。今でも支持をしていただいていることを承知はしてるけれども、引き続きご理解のほどよろしくお願ひいたします。



- ★6月に日本学生支援機構の申し込みを3年生300人のうち180人が出した。そして12月に給付奨学金の受給決定が90人に届いた。全体の約3割の子が生活保護世帯もしくはそれに準ずるような厳しい状況の家計の子が本校に来てくれている。それを可能にしているのが就学支援金や私学助成だったりする。
- ★9月に文化祭を開催し、その際に文化講演会という形で本校のOBに講演をお願いをする機会があったが、高温で生徒の安全が確保できないとして講演の中止を判断した。体育館等の空調設備への支援を検討していただきたい。勉強を頑張つて優秀な成績を取る子ほど東京や大阪などの大学を志望し、有為な人材があればあるほど県外へ流出してしまつている状況がある。県内の大学がもっと充実していけば有為な人材が県内にとどまるのかなと思う。
- ★2学期が終わわり丁度者懇談の時期で、保護者から苦しい実情などを耳にする機会が増えてる。県市や国からの支援がないとしても困る、物価高などで学費補助を求める声は大きい。

- ★私学助成をはじめとして国からの就学支援金等のおかげで様々な家庭状況の方が私学に通うことができるようになった。クラブ活動に生徒が参加するにも、遠征費や物品等々で部費などを集めるので、経済的な負担は保護者の方にある程度お願いをしなければいけないこともある。生徒が自分のやりたいこと、頑張りたいことを一生懸命取り組んでいけるように、今後とも私学助成をよろしくお願ひします。
- ★5月ぐらいから生徒は暑い暑いと言出し、エアコンを稼働するように、今後とも私学助成をよろしくお願ひします。



★社会で活躍できる人材を育てることが教員の使命であることは重々理解している。そのためには勤務時間以外で教材研究をしたり、クラブ活動でいい思いさせられるために自分自身を研鑽していかなければ、生徒の成長につながる教育ができませんという面が教育現場にはある。生徒たちを置き去りにしてはいけません。教員は自分の時間をなるべく自己研鑽等に当てている。

【横田知事】

要望も含めて現場のいろんな声を聞かせていただき、ありがとうございます。教育に関しては、広島県の底力をつけていくために大変重要なことだと思っておりますし、県庁としてもしっかりと、一貫して学び続けていくことを重視していく政策をしています。一方で物価高であるとか、人口減少という波があり、いろんな場面で苦しいことも多いというのも聞いている。これから予算に関しては、来年度に向けて予算編成中ですので、皆さんから今日いただきました声もしっかりと考えていきながら、できることを努力していきたいということで、広島県としても対応していきたいと思ひます。

【中本議長】

財政に一定の限りがあるということで、経常費の補助金の拡充が1番の項目じゃないかと思う。この猛暑の中で、体育館へのクーラーの件、これは地域の皆さんが使う場合もあるし、夏場が蒸し風呂で使えないような状況なので、急がなきゃいけないのかな。1番進んでないのは体育館の空調整備。政策とか人件費を出すとかいうよりも、もっとたくさんのお金がいる。

中原会長、保護者3人等の計9人が出席。多数の市議会議員が同席。

【参加者の声】 (抜粋)



★公立に比べて私立は学費等がかかることは認識しているが、どうしても通いたいということで、毎朝6時半の電車に乗り、通つてきて3年が終わろうとしている。スクールバスがあるが、中学生のみの利用で高校生は利用できない。朝だけでもいいので高校生も乗せてあげたいとなると、色々かかってくると思う。そういうところにも何かしらご支援等をいただければ、子供たちも通えやすくなるのではと思う。

- ★授業のない夏休みだからこそ、学校の図書館とか教室で勉強したり、部活動の時間、生徒会の時間などたくさん取れる。でも学校でエアコンがある部屋とない部屋があり、ある部屋も人数が集まらないとつけてもらえない。快適な環境でいろんなことを頑張れるように、子供たちが存分に楽しめるように設備費の方を補助していただけたらと思う。
- ★未来を担っていく子供たちの存在は非常に大きくて、社会全体で支えていかなきゃいけない。公立と共に私学も広島においては非常に存在が大きいと思つており、引き続きの助成支援ということを是非お願ひできればと思う。
- ★私の学校ではクラブ活動に燃えてる生徒がたくさんあります。全国大会出場となると、遠征費もかかる。毎年、近隣の方に全国の遠征費をお願いすることも各クラブで起こつている。気兼ねなく遠征に行け、他県と広島県の代表として戦つていけるように頑張れるというのは、支援のおかげだと思つております。
- ★ゴルフ部の顧問をしているが、今年も全国大会に出場する。パフォーマンツ補助により助かっている。陸上競技部が都大路に行つたりと、結構全国に行くクラブが増えているので、この補助がかなり役立っている。今後ともモチベーションが高まるように、引き続き補助をお願ひしたい。



【糸市議会議員】

全議員に陳情書を配布し、文教委員会に付して審査していきたい。

【松井市長】

私立学校独自の建学の精神あるいは特色ある多様な教育を実践するという立場で、わが市の教育振興や都市の創造性とか活力維持そういうことから、とても重要な役割を果たしていただいていると認識し、感謝申し上げます。わが市においては社会環境がどんどん変化していく中で、公立と私立のそれぞれ特性に応じた教育の質と量、役割分担を図るということをやらざるを得ない。私学助成、学校の整理です。そして市という基礎自治体、これは県を補完するという立場で教育問題に関与することだが、普通の基礎自治体と違って全国20ある政令市として、一定程度県の権限もいただいている。完璧に県になりかかるとは無いということもありながら、そういう問題に関与すること、これまでも教職員の研修費であるとか、教材教具の整備費を補完という立場で支援をするということをやつてまいりました。それぞれにということをやつてきたが、今年度からもう少し柔軟に使えるようにという判断をし、教職員の研修費と、教材教具の整備費を区別をすることなく、それぞれの実態に応じて使い分けていただくことに変えた。部活のパフォーマンス補助に関しては、特に配慮するという考え方をしっかりと協議しながらと思つております。公私立関係なく学校で教育上起こるいろんな問題、例えばいじめ、不登校ですね。そういう課題に対しては、我々関係する市民の問題ということで、私立学校であつても指導するための主事を派遣するとか、教育センターで研修を受け止める。さらには国際交流とかボランティアの活動、それぞれの学校で特色もつとやられるというようなことがあるが、それについて間接的ですけど、平和文化センターの事業を通して、幅広く私立の皆さんも参加していただくということで、公私立の垣根を超えた取り組みをさせていただいていると思つてます。この垣根を超えてやれる部分については当然できる限りの支援を行いますし、垣根があり役割分担の分野についてはそれぞれ必要となる権限、財源、これを基礎自治体として県あるいは国そういったところに必要な要請、要望をしっかりとこれからもやつていきたい。